

組織目標評価報告書（平成21年度）

部局名： 歯学部

組織目標		達成状況(成果)	
教育	1) 診療参加型臨床実習を充実するため、到達目標、成績評価基準、学外医療機関の活用等を検証・整備する。	1) 教務委員会の下部組織である臨床実習実施部会を中心に、現在の診療参加型臨床実習の問題点を洗い出し、第6年次臨床実習生に対して、臨床教授等が指導を行う学外実習の充実を図ることとした。本学外実習は、一般在宅介護現場に加え、特別養護老人ホーム、重症心身障害者のための総合医療福祉施設、慢性期病棟を有する総合病院等に派遣するものである。そのために、臨床実習専用の出席管理システムをウェブアプリケーション(Time Manager 6: TM6)として新規構築した、また本実習の履修プログラムの充実を図ると共に、その内容を岡山歯学会雑誌に、「卒前歯学臨床教育における学外インターンシップ実習の構築と今後の展望(印刷中)」として報告した。	
	2) 「歯学モデルコアカリキュラム」、「診療参加型臨床実習」、および「学生が主体的に学習する能力の育成」の観点から、カリキュラムを検証し、体系的で順次性のあるカリキュラムを構築する。	2) 目標に掲げた「歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議第一次報告(平成21年1月)」の観点から、カリキュラムを検討し、特に「医療法学・社会福祉学」と「実践歯科医療学」の授業内容の見直しと講師の変更を行なった(実施は次年度以降)。また同じく第一次報告にある「若手研究者の養成」と「主体的に学習する能力の育成」の観点から、学長裁量経費により教科書「チェアーサイド歯科英会話(CD付き)」を作成し(印刷完了)、次年度からの教育に資することとした。	
	3) 優れた入学者を確保するため、入学試験やアドミッション・ポリシーを検証するとともに広報活動を充実する。	3) 優れた入学者を確保するため、入試委員会を中心に入学定員削減計画を立案した。またアドミッション・ポリシーを再確認し、これに沿った入試制度の改正を行なった。これにより平成23年度からの新たな入試実施体制が整った。また広報活動の充実・改善のため歯学部広報委員会を設置し、年度計画を立ててパンフレット等の作成を行なった。	
達成度: ④ 3 2 1			
研究	1) 岡山大学歯学部における教育の特色・実状の分析と今後の発展のための方策を学会発表や教育研究論文として公表する。	1) 歯学部将来構想検討WGを中心に、歯学部各層より得た意見を分析し、論文(岡山大学歯学部戦略的計画一求められている今後の対応策-)に公表した。これを次期執行部に提案し、対応することとなった。	
	2) その他は、研究科(歯学系)に準ずる。	2) その他は、研究科(歯学系)に記載した。	
達成度: 4 ③ 2 1			
社会貢献	1) 岡山歯学会および歯学部関係の学会等を活用して、医療従事者、市民を対象に公開講座を開催する。	1) 広く卒業生や医療関係者(歯科衛生士、歯科技工士を含む)が参加できる岡山歯学会を開催した。また歯学部全体で89件の公開講座(一般市民、医療関係者、同窓会を含む)を行なった。特に、口腔インプラントや摂食・嚥下リハビリテーションにおいては、地域の歯科医師会や技工士会、衛生師会、メディカルスタッフ等の協力を得て医療従事者向け講習会を年間通じて開催した。またその内容を「地域の歯科医療関係者に対する支援—口腔インプラント講習会と摂食・嚥下リハビリテーション教育—岡山医学会雑誌121:183-187, 2009」として報告した。	
	2) 企業、市町村を対象に公衆衛生活動を実施する。	2) 事業所の従業員を対象に、特殊健康診断および一般成人歯科健康診査を行った。また岡山県北の母子・成人・高齢者歯科保健の向上を目的に、行政へ情報を提供するとともに、公衆衛生活動を企画・運営・実施した。	
	3) 地域医療支援活動や啓蒙活動について情報公開を行なう。	3) 歯学部ホームページ(広報委員会にて一部整備中)を通して、「歯学部だより」、「岡山歯学会」の中で公開している。	
達成度: ④ 3 2 1			
事項	前年	今年の目標	達成状況
学部入試倍率	推薦2.2倍、前期3.2倍、後期3.3倍、 学士13.6倍(平成20年度)	倍率の増加を目指す	推薦1.3倍、前期2.3倍、後期3.6倍、 学士10.8倍(平成22年度)
国家試験合格率	91.8%(第102回)	合格率の増加を目指す	95.1%(第103回)全国1位
全国共用試験(CBT, OSCE)	全員参加し、1名CBT不合格であった。	全員合格	全員参加し、全員合格であった。
卒後研修マッチング(歯学系)	平成21年度マッチング率100% (研修医65名中岡大卒39名)	マッチング率100%	平成22年度マッチング率95.4% (研修医63名中岡大卒36名)
科研費申請率			
科研費採択率			
共同研究件数			
受託研究件数			
留年・休学・退学者数	留年8人、休学8人、退学0人 (平成21年2月末現在)	(今年の状況) 減少を目指す	留年6人、休学7人、退学0人 (平成22年2月末現在)
就職率	91.8%(研修医)	就職率の増加を目指す	96.4%(研修医)
【自己評価総括記述欄】※目標及び指標の達成状況について総括し、次年度に向けた改善点等を記載してください。 目標及び指標の達成のため、これに対応する委員会等を通じて努力してきた。平成22年度からは「会議等および運営体制の見直し」があるため、組織目標を達成できる体制を早期に整えたい。なお入試倍率に低下傾向があるため、とくにこの点を改善するため、関係委員会を通して検討する必要がある。			

【達成度】 4:非常に優れている 3:良好である 2:概ね良好であるが改善の余地あり 1:不十分であり改善を要する

注)本様式は一般的な学部・研究科用であり、部局の特性に合わせ設定した領域・指標により修正してください。

[組織目標一覧へ](#)